

さっぽろ
円山動物園
Sapporo Maruyama Zoo
だより
2023
Vol. 182
あきごう
秋号



北海道の
動物シリーズ 2
コウモリ

ほっかいどう かん とう
北海道で観察できる
コウモリのなかま



ヤマコウモリ

(翼手目ヒナコウモリ科)

Nyctalus aviator

ねぐら(休んでいるところ):木のウロの中
神社や公園の大木や林など、いろいろなところ
に生息している。

特徴:オオコウモリの仲間をのぞく、日本に
生息しているコウモリの中で一番大きい。

観察ポイント:飛ぶ能力が高く、すこし明るい
うちから空を飛んでいるので見ることもできる。
鳴き声も直接聞こえるかもしれない!

キクガンシラコウモリ

(翼手目キクガンシラコウモリ科)

Rhinolophus ferrumequinum

ねぐら(休んでいるところ):どうくつなどぶら
下がって休む。

特徴:鼻に「鼻葉」というひだがある。そこから
超音波を出すことで、エサである虫の飛んで
いる場所や障害物がわかる。耳も大きく、跳ね
返ってきた超音波を逃さずキャッチできる!



開園時間	3月1日～10月31日…午前9時30分～午後4時30分 11月1日～2月末日…午前9時30分～午後4時
休園日	毎月…第2、第4水曜日(祝日の場合は翌日) ※8月は3日、24日 4月・11月…第2水曜日を含まその週の月～金曜日 12月…29～31日
料金	大人年間パスポート/2,000円 団体(30名以上)/720円 大人/800円 高校生/400円 小人(中学生以下)/無料 駐車料金 普通車/1回700円

飼育動物数 (2023年7月末時点)		
哺乳類	53種	277点
鳥類	35種	130点
爬虫類	43種	271点
両生類	13種	95点
魚類	0種	0点
総計	144種	773点

札幌市円山動物園公式HP
<https://www.city.sapporo.jp/zoo/>
札幌市円山動物園 TEL011-621-1426

動物取扱業に関する表示
・氏名:札幌市円山動物園 園長 柴田 千賀子
・事業所の名称:札幌市円山動物園
・事業所の所在地:札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
・動物取扱業の種類(登録番号):展示(札幌登録第437号)、販売(札幌登録第1081号)、保管(札幌登録第1082号)、貸出(札幌登録第1083号)、訓練(札幌登録第1084号)
・登録年月日:平成19年5月21日(展示)、平成24年5月21日(販売、保管、貸出、訓練)
・有効期限の末日:令和9年5月20日
(展示、販売、保管、貸出、訓練)
・動物取扱責任者:柴田 千賀子

SAPP-RO
Sapporo City Wi-Fi
SAPP-RO
さっぽろ市
02-403-22-1063
RS-2-854



ひまく 飛膜

指先から後ろ足にかけてつながる膜があります。これを使って鳥のように羽ばたきことができます



※モモンガとは何が違うの？
モモンガなどは高いところから遠くに落下しながら飛ぶ(滑空といいます)に対して、コウモリ類は空を自由に飛ぶことができます。

うしあし 後ろ足

後ろ足は主にぶら下がるためのフックの役割をしています。二本足で立つことはできず、飛ぶときに邪魔にならないよう、小さく軽くなっています。



このように、コウモリは他の哺乳類にない特殊な身体の構造をもつことで

「飛ぶ」能力を獲得したと考えられます。



コウモリって どんな動物!



エコーロケーション

コウモリは口や鼻から超音波を出し、その反響で障害物や餌を認識しています。

クロオオブラコウモリは口から、キクガシラコウモリは鼻からというように、超音波を出す部位、そして超音波の周波数などは、種類によって異なります。

日本にも住んでいるオオコウモリの仲間は目が大きく、視力を使って餌を探します。



とうみん 冬眠



日本にいるほとんどのコウモリは冬眠をします。秋になると体に脂肪を蓄え、脂肪は冬の間の

貴重なエネルギー源になります。冬眠する場所は種類によって異なり、洞窟、トンネル、岩の隙間、樹洞、枯葉や、中には雪の中から見つかった種類もいます。

たもの 食べ物

コウモリの食性は種類により異なり、昆虫、果実、花の蜜、花粉、葉、魚、カエルなどをエサにしています。食べる量は、自分の体重の30%ほどで、これを一晩で食べてしまいます。

コウモリといえば血を吸うイメージが強いかもしれませんが、約1100種いるコウモリの中で血をエサにしているのはたった3種類です。

日本には昆虫食、果実食、肉食のコウモリが生息しています。

